

各競技団体の長様

岩手県  
公益財団法人いきいき岩手支援財団  
一般財団法人岩手県老人クラブ連合会

岩手県民長寿体育祭各種競技の実施における熱中症警戒アラート等への対応について（通知）

岩手県民長寿体育祭各種競技（以下「各種競技」という。）の実施につきましては、協力を賜り厚く御礼申し上げます。

県内では連日、気温30度を超える真夏日が続くなど異例の暑さが続いており、熱中症の危険性が極めて高いとして「熱中症警戒アラート」が頻出される状況となっています。政府においては、熱中症警戒アラートが発表された場合、特別の場合以外は運動を中止する措置を講ずるなど、徹底した熱中症予防行動をとるよう呼び掛けています。

こうした状況を踏まえ、各種競技の実施に際し、参加される高齢者の健康と生命の確保等の安全を最優先に考え、下記のとおり取り扱うこととしましたので、趣旨を御理解の上、適切な対応をお願いいたします。

#### 記

#### 1 熱中症警戒アラートに対する各種競技会における開催可否の判断について

熱中症アラートが発表された場合は、各種競技会を中止または延期する。

#### 2 暑さ指数(WBGT)予測に対する各種競技会における開催可否の判断について

各種競技会における開催日の前々日までに、暑さ指数(WBGT)予測に応じて各種競技会の開催可否を判断する。

開催日の前日17時に熱中症警戒アラートが発表されてからの対応決定では、競技中止等の連絡を各競技団体及び参加者へ周知することが困難であるため、熱中症警戒アラートに先立ち、環境省から公表される「暑さ指数」を指標とし、各種競技実施予定日における当該開催地もしくは近隣地点の暑さ指数によって判断するものです。

(1) 暑さ指数が「31以上(危険)」の場合、主催者は各種競技会の開催を中止または延期することを決定し、主管団体へ通知する。

※ 主管団体は上記の決定内容について、参加者へ通知願います。

(2) 暑さ指数「28～31(厳重警戒)」の場合、主催者は屋外での各種競技の実施を中止または延期することを決定し、主管団体へ通知する。

※ 主管団体は上記の決定内容について、参加者へ通知願います。

なお、屋内競技で次の条件を全て満たす場合は開催可能とします。

ア 会場（体育館等）にエアコン等の空調設備があり、競技実施中の稼働が可能であること。

- イ 熱中症の対応について知識があり一時救命処置が実施できる医師もしくは看護師が常駐している救護所を会場内に設置し、救急搬送体制の対策が講じられていること。
- ウ 十分な給水や休憩時間の確保等その他必要な安全策を講じられていること。

**【参考資料】**

**1 気象庁の発表する熱中症警戒アラートについて**

<https://www.jma.go.jp/bosai/information/heat.html>

- (1) 当日を対象とする熱中症警戒アラートは、午前5時に更新されます。
- (2) 翌日を対象とする熱中症警戒アラートは、午後5時に発表されます。

**2 熱中症予防情報サイト(環境省)について**

<https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt.php#guideline>

**3 運動に関する指針について(日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」)**

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

**【担当】** (公財) いきいき岩手支援財団

総務・公表課 橋本

TEL : 019-626-0196、FAX : 019-625-7494